

九月例会御案内

〔平成三十年・通算第三七八回〕

○御案内

九月十九日(水)十一時半入館可、正午～午後二時半

参議院議員会館地下B一〇九会議室

◎講題 『経済財政白書』の内容解説！

講師 茨木秀行内閣府参事官・経済財政分析総括担当官

八月三日、内閣府から、『経済財政白書』が発刊されました。七月の月例会では、外務省から『外交青書』の内容解説をいただきましたが、それに劣らず、この『経済財政白書』も、極めて重要なわが国政策についての白書です。

また、わが国の経済財政を考える時、それは単に国内事象だけではなく、いまや経済財政は、グローバルな視野に立って、世界の経済・金融・財政をふまえて、編集されております。そこで、内閣府へお願いに出たところ、この『経済財政白書』を起案・編集した中心の担当官、茨木秀行経済財政分析総括担当官様が、その内容解説にお出で下さることにになりました。昔は、白書という活字ばかりが並んでいる分厚いものでしたが、いまでは、カラフルな写真・地図・統計が入り、分かりやすく編集されていますし、それも、御説明下さる御担当官は、さらにまとめたカラフルな資料を御用意下さり、分かりやすく御解説下さると思っておりますので、どうぞ、皆様、奮っての御参加、お待ち申し上げます。(清原記)

□ 当日会費(昼食付き) 会員は三千円、非会員五千円。

時代を刷新する

△△ <http://www.jidaisasshin.jp>

九月十九日(水)の月例会に

電話 03-3272-4320
FAX 03-3507-8587

出席 欠席 (いずれかに〇印を)

御芳名

貴方様のFAX
メール

当日連絡先

080-8836-6203 重田
080-9292-2620 高津
(メール不可・通話のみ)

▽九月十七日(月)までに欠の御連絡賜りたく。

◎御報告

第二次世界大戦前は、船旅や列車なので、世界の首脳が会谈するのも大変でしたが、戦後は、航空機の性能向上・巨大化と共に、各国首脳も短時間の飛行で国際会議に出席できるようになり、世はまさに首脳外交華やかな時代となりました。わが国の安倍晋三総理も、総理就任以来、国会日程の合間を縫って、世界中を飛び回っておられ、『外交の安倍』と言われております。この青書制作担当の折、外務省が六月二十七日、『平成三〇年版外交青書』を発刊されたので、この青書

七月十三日(金)、参議院議員会館で『外交青書』をさらさら、参議院議員会館で行われた川植周室長様の御講話の要点は、『膨大な資料を配付し、簡にして要を得た写真・地図・統計で編集した『国際情勢と日本外交』と題する資料の要点を記す、まず、一般的国際情勢として、ロシアのクリミア半島占拠や中国の東・南シナ海島嶼の占拠基地化など、軍事的背景とする現状変更が続く一方、これまでのグローバルな自由貿易への反動として保護主義が急速に台頭し、国際秩序はなお大きな挑戦を受けている。その中で、日本は、各国との連携を図りながら、国際社会の平和と安定のために、従来以上に大きな責任と役割を果たさなければならぬとし、安倍晋三総理、そして外務大臣のこれまでの

外国訪問の実績を挙げ、今後は、それをさらに推進するべく、①日米同盟の強化及び友好国とのネットワークの強化の推進、②近隣諸国との関係強化、③経済外交の推進、④地球規模課題への対応、⑤中東の平和と安定への貢献、⑥自由で開かれたインド太平洋構想の推進、⑦地球規模課題への対応、⑧上立っての各国、すなわち、大層、勉強になり、その後の意見交換も盛んでした。(清原記)

▽「時代を刷新する会」とは

「何事も人類・国民のためになることは、時代を先取りして、積極的に取り組もう」との趣旨で、昭和五十六年、岸信介元総理によって創設されたシンクタンクです。晩年の岸信介元総理が、その部会と、五、六の委員会で、超党派・超派閥で、真に国を憂える有志によって構成されています。八つ、第二代会長は、木村睦男元参議院議長、第三代会長が櫻内義雄衆議院議長、第四代会長の塩川正二郎元財務大臣は、九十歳を機に辞任。第五代会長代行として、江口一雄元衆議院議員、現在、衆議院議院運営委員、自民党国会対策委員会副委員長が就任しております。

▽事務局電話(03)3272-4320

専務理事・清原淳平、総務 重田典子、高津優介